

みんなで健康

肝炎は、早期発見・早期治療

日本では、年間約35,000人の方が肝がんによって死亡しています。そのほとんどは、B型肝炎・C型肝炎ウイルスの感染者です。またB型・C型肝炎ウイルスの患者・感染者数は、合わせて300万人以上とも推定され、肝炎は国内最大の感染症と言われるほど「身近な」病気なのです。

肝炎は自覚症状が現れにくく、「体がだるい」と気付いてからでは、重症化していることも多くあります。一方で、症状が軽いうちに治療をすることで、肝硬変・肝がんといった重篤な病気を防いだり・進行を遅らせることが可能です。

ですから、症状がなくても、一生に一度は、肝炎ウイルス検査を受けて、感染を早期発見し、適切な治療を受けることが、非常に重要です。

●肝炎とは

肝炎とは「肝臓に炎症が起きている状態」であり、ウイルス性肝炎、薬剤性肝炎、アルコール性肝炎、自己免疫性肝炎などに分類されます。

日本では、肝炎の大半が「ウイルス性肝炎」であり、主な肝炎ウイルスは、A、B、C、D、E型の5種類です。中でも、B型・C型ウイルスは、肝臓にすみついて、慢性肝炎になる可能性が高く、肝硬変・肝がんにも進行することもあります。

●感染拡大の予防のために

B・C型肝炎ウイルスは、血液を介して、人から人へと感染します。他人の血液に安易に触れない・カミソリなどの血液がつく可能性のあるものを共有しないなど、常識的な注意事項を守っていれば、日常生活でうつることはまずあり得ません。（くしゃみ・せき・抱擁・食べ物・飲み物・食器やコップの共有などでは感染しません）

●一生に一度は肝炎検査を受けましょう

肝炎ウイルス検査は、桑名保健福祉事務所で「無料」で受けられるようになっています。また朝日町でも7月～11月の期間、①H22年度中に40歳を迎える方②41～70歳の方で過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない方を対象に、自己負担金1,000円での肝炎検査実施しています。

検査自体は採血のみですから、短時間で簡単に終わります。

●もし肝炎治療が必要になったら・・・

肝炎の治療法は、近年急速に進歩しており、従来根治が難しかったタイプの肝炎でも最新のインターフェロン治療により、多くの方が根治に至るようになりました。早期治療を推進するため、医療費が高額なインターフェロン治療などの医療費助成制度が利用できます。詳しくは、桑名保健福祉事務所へお尋ねください。（桑名保健福祉事務所：TEL 0594-24-3620）

☆健康相談のお知らせ☆

日時：毎月第2月曜日 午後2時～3時30分

場所：保健福祉センター

内容：保健師・看護師・管理栄養士による相談（尿検査、体重・体脂肪測定、血圧測定）

予防接種のお知らせ

MR（麻しん風しん）予防接種 [今年度の接種対象者]

2期（小学校入学前年度の1年間にあたる児）	H16年4月2日～H17年4月1日生まれ
3期（中学1年生相当年齢）	H9年4月2日～H10年4月1日生まれ
4期（高校3年生相当年齢）	H4年4月2日～H5年4月1日生まれ

- 接種の詳細については、4月にお送りした案内をご覧ください。
- 対象にあたる方々は、忘れずに接種を受けましょう。

ポリオ予防接種 [今後の予定]

日程：6/15、9/21、11/16、H23.2/15

※いずれも火曜日、13：20～14：20受付

- 対象者には個別通知いたします。接種対象期間（生後3ヶ月以上7歳6ヶ月未満）であれば、通知がなくても接種可能です。

問い合わせ先 町民福祉課子育て支援室 377-5652

「みえ看護フェスタ2010」のご案内

“看護もエコの時代
～手作り看護の技教えます♪～”

日時：5月15日（土） 午後1時～午後4時
場所：三重県文化会館2F第1・第2ギャラリー・会議室（大・中・小）

内容：①看護の仕事紹介と体験
②看護部活動紹介
③看護学校への進路相談と就職相談
④パフォーマンスタイム
（よさこい、バンド演奏）

主催：三重県、社団法人三重県看護協会、
日本助産師会三重県支部